一般質問の質問者順番と質問事項

（令和７年　第１回定例会）

質問順位	９　　８番議員　　大久保由美子	
質問事項１	町内の保育所等の保育の現状と今後の取組について	
質問の要旨	学校の教育現場では、ジェンダー平等やインクルーシブ教育の取組が行われている。ジェンダー平等などの教育は幼児期が大事であり、その後の成長にも影響すると言われている。 町内の保育所等でのジェンダー平等やインクルーシブ保育の取組と、令和８年度から全国の自治体で本格実施する「こども誰でも通園制度」の取組や推進について問う。	
具体的な質問及び質問の相手	（１）　基山保育園の運営について ア　基山保育園の運営方針と目標を示せ イ　ジェンダー平等の保育をどう捉えているか示せ ウ　ジェンダー平等の保育の現状と今後の取組を示せ エ　統合保育とインクルーシブ保育の制度の違いを示せ オ　インクルーシブ保育の現状と課題を示せ	町　長
	（２）　町内の保育所等のジェンダー平等とインクルーシブ保育の現状を示せ	町　長
	（３）　「こども誰でも通園制度」について ア　制度の概要を示せ イ　導入による効果と課題を示せ	町　長

一般質問の質問者順番と質問事項

（令和７年　第１回定例会）

<table>
<tr><td>質 問 順 位</td><td colspan="2">９　　８番 議 員　　大 久 保 由 美 子</td></tr>
<tr><td>質問事項２</td><td colspan="2">女性の健康課題とフェムテックの推進について</td></tr>
<tr><td>質 問 の 要 旨</td><td colspan="2">近年、女性の健康課題をサポートするツールとしてフェムテックが注目されている。
フェムテックとは、Female（女性）と Technology（技術）を掛け合わせた造語である。年齢によるホルモンバランスの変化と共に現れる、月経関連症状や更年期症状など女性特有の悩みを先進的な技術で解決する商品やサービスのことを指す。
経済産業省によると、女性特有の健康課題による労働損失等の経済損失は、社会全体で年間約 3.4 兆円と試算されている。令和５年時点で国内の就業者数の 45.2%が女性であり、女性特有の健康課題の悩みは女性活躍推進の観点からも、今や社会全体の課題といえる。
女性が働きやすい環境を整えることが職場の生産性向上に繋がり、誰もが健康で自分らしく働ける職場が望まれる。
また、それらの課題は、仕事のみならず家事・育児・介護や地域活動、社会活動全般でも影響があることから、女性の健康課題とフェムテックについて問う。</td></tr>
<tr><td>具体的な質問
及　び
質 問 の 相 手</td><td>（１）　女性の健康課題について
ア　女性特有の健康課題とフェムテックについて示せ
イ　女性の月経関連症状や更年期症状等の町民への周知啓発や相談体制を示せ

（２）　女性職員の健康課題の取組について
ア　役場職員（会計年度任用職員等も含む）における、女性職員数と女性職員の割合を示せ
イ　女性職員の健康課題への対応や相談体制を示せ
ウ　職員へのフェムテック活用の見解を示せ

（３）　学校での女性教職員の健康課題とフェムテック活用について見解を示せ</td><td>町　長

町　長

教育長</td></tr>
</table>